

Nr.2 ヨーロッパ中世史の入門書を読む【中級講読】

■ 内容

・全てのドイツ語文法を既習済みで、辞書を用いて難なくドイツ語の文章を読むことが可能な、ドイツ語学習中級者および上級者を対象とする講座です。

・ヨーロッパ中世史に関する入門書の講読を通じて、学術的な文章を読む上でのポイントや技術を習得すると共に、一般の方には謎に満ちたものと思われるであろう、中世ヨーロッパの魅力が講師の解説を基にして学んで頂くことを目的とします。そのため、歴史に興味のある方には、特にお勧めです。

・講座では、お1人ずつ担当箇所の記事を音読して頂き、文構造や内容、読解ポイントを確認すると共に、適宜、中世ヨーロッパに関する重要トピックについて解説いたします。

■ 使用教材

・大学で初めてヨーロッパ中世史を学ぶ学生向けの入門書”Geschichte Kompakt”シリーズの Becher, Matthias, Merowinger und Karolinger, Darmstadt: WBG, 2009. を教材とし、非常に美しい写本挿絵など魅力満載のカロリング朝史を主なテーマとした範囲を、1日に1~1.5ページ扱います。

・事前に、テキストや用語集、年表等を（ZOOM開催の場合：ZOOMのURLと共に）お送りしますので、筆記用具と辞書（形態不問）をご用意の上、予め講師の指定した範囲の文章に目をお通しください。

■ シラバス

- 1 日目（8月5日）：カロリング朝 Karolinger の成立
- 2 日目（8月6日）：カロリング朝の拡大
- 3 日目（8月7日）：カロリング朝の政治的最盛期
- 4 日目（8月8日）：カロリング朝の文化的最盛期
- 5 日目（8月9日）：カロリング朝の衰退

■ 講師紹介

氏名：横倉 源（よこくら はじめ、東京外国語大学大学院博士前期課程1年）

専門は、ヨーロッパ中世史、西洋中世美術史、キリスト教図像学。本学国際社会学部中央ヨーロッパ・ドイツ語専攻を経て、本学大学院へ進学。現在は、写本挿絵の分析を用いた、9世紀カロリング朝において理想とされた統治者像の解明に取り組んでいます。